



新年のご挨拶

理事長 西片 多門

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は9月14日に、パレスホテル大宮にて「関東信越税理士協同組合連合会50周年記念式典」を執り行うことができました。ひとえに組合員・賛助会員そして提携企業の皆様の協力の賜物と感謝申し上げます。

理事長としては、佐渡・十日町・新津地域の業務推進会議に足を運び各地域の声を聴くことができました。既に対応させていただいた地域も有りますし、今後検討を残した要望も有ります。新年度で対応させていただく予定です。

1. 全税共

全税共第33回全国統一キャンペーン(期間:平成30年9月～11月)

今年は6月～8月迄をプレキャンペーンの期間として9月を迎えた為、意識も高く10月末時点における収納保険料は前年比106.6%の成績を上げております。

平成31年2月6日ホテルオークラ新潟における表彰式では多数の受賞者をお迎えできるよう役員一同今から準備しております。

2. 総合事業保障プラン(大同生命)

目標とする保有残高1,500億円を超えることができ、4月～10月末の新契約高では前年比131.2%の成績を上げております。

また、初めての試みですが10月には営業拠点の代表者との業務推進会議を行いました。

3. あんしん財団

当財団につきましては財団の福利厚生事業に対する方針変更が有り、県税協としては広報に努めている所です。

4. 教育事業について

例年と同じく実務研修会を2回、シリーズセミナーを2回(各3回シリーズ)、そして県連主催の研修会と全国統一研修会に共催致しました。

4月11日に行われました岩下忠吾先生の実務研修会において、次年度はライブ配信による研修会の許可を頂いております。

5. 情報事業について

毎年暮れに行う希望書籍の無償配付ですが、1万円の上限を1万5千円へ増額すること及び提供書籍の充実を考えております。

6. 地域運営費

各地域運営費に関しては13地域に対して総額1,054万円をお支払しておりますが、加入率100%で無い地域が有る中、組合員・賛助会員以外に使用されることに対する合理性が問題となっております。今後県連から各支部への給付が細ると予想される中、県税協の協力を続ける上でも地域を挙げて加入促進をお願いします。

新年の方針

新年度は4月9日の岩下忠吾先生の研修を皮切りに複数回のライブ研修を予定しております。更に研修機会を多くの組合員・賛助会員の皆様に得て頂くため、参加費の見直しを行いたいと思いません。

また、残りの任期中に回っていない地域に寄せていただくつもりです。

昨年の県税協へのご理解とご協力に感謝し、今年も組合員・賛助会員そして提携企業の皆様と良好な関係を続けられます事をお願いして新年のご挨拶とさせていただきます。